

製品安全データシート

1. 製品及び販売会社情報

製品名 : Fleur ami Leafshine

(Fleur ami リーフシャインスプレー)

販売会社名 : アン株式会社 (アン・コーポレーション)

住所 : 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-33-5 平井ビル 1F

電話番号 : 0422-21-6215 FAX 番号 : 0422-21-6206

製造元 : Fleur ami GmbH

Rosenstrasse 77, D-47918 Toenisvorst

Telephone no. +49(0)2151 70 90 30

Fax +49(0)2151 70 90 34

Emergency telephone no. +49(0)6131-19240

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分 :

成分名	濃度% b.w.	CAS No.	化審法 No.	Classification		R phrases
プロパン Propane	>10 <30	74-98-6	2-3	F+; R12	F+	12
ブタン Butane	>1 <5	106-97-8	2-4	F+;R12	F+	12
イソブタン Isobutane	>10 <30	75-28-5	2-4	F+;R12	F+	12
イソプロピルアルコール Propan-2-ol	>5 <10	67-63-0	2-207	F;R11 Xi;R36 R67	F,Xi	11-36-67
水素化精製重質ナフサ(石油) Naphtha(petroleum), Hydrotreated heavy	>10 <20	64742-48-9	該当なし	Xn;R65 R66	Xn	65-66
アルカン C9-12-iso Alkanes,C9-12-iso	>10 <25	90622-57-4	該当なし	R10 Xn;R65 R66 R53	Xn	10-53-65-66

Hazard symbols ↑

分子式(CAS No.) : C3H8(74-98-6), C4H10(106-97-8), C4H10(75-28-5), C3H80(67-63-0),

テータなし(64742-48-9), テータなし(90622-57-4)

3. 危険有害性の要約

危険区分 classification	・・・ F+; R12	引火性が極めて高い
	R66	繰り返しの使用で肌の乾燥またはダメージを起こす可能性がある
危険シンボル	・・・・・ F+	引火性が極めて高い
R phrases	・・・・・ 12	引火性が極めて高い
	66	繰り返しの使用で肌の乾燥またはダメージを起こす可能性がある

上記は、溶媒と可燃性物質を混ぜて使用している間、及び使用した後に、人体／環境へ与える特定のリスクに関係している特殊な情報である

4. 応急処置

＜一般情報として＞ 疑わしきすべてのケースにおいて、または病状がある時は、医師の手当てを受ける。意識がない被災者には絶対に経口で何も与えないこと

＜吸入した場合＞ 被災者を空気の新鮮な場所に移し、身体を温め休ませる。不規則な呼吸や無呼吸の場合は人工呼吸をほどこす。もし意識がない場合は、回復室に運び、医師の手当てを受ける。

＜皮膚に付着した場合＞ 直ちに石けんと水で徹底的に洗う、または認可されているスキンクリーナーを使用する。絶対に溶媒やシンナーを使わないこと

＜目に入った場合＞ コンタクト着用の場合はレンズをはずし、清浄な水で最低10分間以上しっかりと洗浄し、まぶたを閉じないようにして、医師の手当てを受ける

＜飲み込んだ場合＞ 無理に吐かせないこと。直ちに医師を呼ぶ。意識のない被災者には絶対に経口で何も与えないこと。安静を保つ

5. 火災時の措置

適した消火剤・・アルコールに抵抗力のある泡沢消火器、炭酸ガス、粉末消火器、噴霧水。

使用してはならない消火剤・・フルウォータージェット（ジェット状の水）。

燃焼によって生じる物質や調合物やガスは、特に危険である。

高温により、一酸化炭素、二酸化炭素や煙のような危険な分解物質を生成する恐れがある。

火災時には、エアゾール容器が破裂する恐れがある。

消火活動の際に身を守る道具・・火災の場合は、適した空気呼吸器（ガスマスクなど）を使用すること

その他の処置として・・火災にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。消火活動で生じた流水が、排水口や水路（側溝）に入らない様にすること

6. 漏洩時の措置

＜人体に対する注意事項＞ 付近の着火源を素早く取り除き、換気を行う。蒸気を吸わないこと。

項目 7 と 8 に列挙されている保護具を着用のこと。

＜環境に対する注意事項＞ 特別な保護具は必要なし。

＜除去方法＞ 廃液（残留液）は砂、土、バーミキュライト、珪藻類の土など不燃性の吸湿剤を用いて吸収・回収し、地域の規則に従い（項目 13 を参照）ゴミとして適当な保管容器にいれておく。なるべく中性（合成）洗剤を使用し洗浄することが望ましい。溶剤の使用は避けること。

7. 取り扱い及び保管上の注意

＜安全取り扱い上の注意＞ 可燃または爆発にいたる濃度の蒸気が発生しないようにし、OEL (occupational exposure limits) よりも高い濃度の蒸気を避けること。裸電球や着火元から離れた場所で使用すること。

＜火災や爆発に対する注意＞噴霧したミストは空気より重いため床に拡散する可能性がある。噴霧（ミスト）は空気と混じると爆発する可能性がある。

＜保管＞相応の保管場所と容器が必要。保管場所は換気が必要。

＜保管全般について注意＞酸化剤や強アルカリ・強酸の物質から離すこと。

＜その他保管条件についての注意＞常にオリジナルと同じ材質の容器に保管すること。

ラベルの取り扱い説明書を見ること。火気や直射日光をさける。よく換気された、涼しく乾燥した場所に保存。エアゾール容器の商品保管場所は法規にのっとり届け出をすること。

8. 暴露防止及び保護措置

十分な換気をすること。排気口や排出装置を用いて行われるべきだが、もし OEL (Occupational exposure limits) にのつとった、氯化溶剤や微粒子（粉じん）の濃度基準を満たせない場合は、適した呼吸保護具を着用すること

含有成分の許容濃度

成分名	CAS No.	EC No.	OEC	STEL	TWA
プロパン	74-98-6	200-827-9	EH40	規定なし	規定なし
Propane					
ブタン	106-97-8	203-448-7	EH40	1810mg/m ³ 750ml/m ³	1450mg/m ³ 600ml/m ³
Butane					
イソプロピルアルコール	67-63-0	67-63-0	EH40	1250mg/m ³ 500ml/m ³	999mg/m ³ 400ml/m ³
Propan-2-ol					

<保護具>

呼吸器系の保護・・もし、労働者が上記の許容濃度を超える状態で作業をする場合、品質が保証された適切なマスクを使用しなければならない。短時間作業の場合はフィルター器具やフィルターA／P 2を着用
手の保護・・耐薬品性手袋を着用
目の保護・・安全眼鏡を着用／顔面保護具
皮膚の保護・・作業者は、自然素材または高温に耐えうる合成素材でできた帯電防止の作業着を着用すること
一般的かつ健康上の注意・・作業中は飲食・喫煙をしないこと

9. 物理的及び化学性性質

一般的な情報

形状：エアゾール（スプレー缶）

色：無色

臭い：アルコール臭

重要な健康面、安全性、環境面に対する情報

物理的状態が変化する条件

沸点：適用外

融点：適用外

引火点：0℃未満

蒸気圧：10 bar 未満 参考温度 50℃

密度：0.685 g/ml

溶解度：有機溶媒

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件・・項目7で奨励されている保管・ハンドリング条件の元では安定

避けるべき分解生成物・・放熱反応を避けるために、酸化銀、強いアルカリ、強い酸化物から離す

危険有害な分解生成物・・高温状態におかれると、一酸化炭素、二酸化炭素、煙、ニトロゲン酸化物のような危険有害な分解生成物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

高濃度の蒸気の吸入は目や鼻、呼吸路の痛みを誘発しうる。

その他の情報・・本製品は General Directive on Preparation(1999/45/EC)の中で要約され

た算出方法の結果に基づき、毒物の範疇として分類された。

12. 環境影響情報

データなし。環境に危険な成分としては、項目 2 を参照のこと。

13. 廃棄上の注意

製品：廃棄コード：200122エアゾール

European Waste Cataloguesにもとづいた廃棄コードの割り当ては、地域の廃棄処理業者の同意に基づき実施されなければならない。

容器：廃棄は、地域の廃棄処理団体のもと監視されなければならない。

14. 輸送上の注意

陸上輸送 ADR／RID

Class: 2 Classification code 5F

UN number: 1950

Technical name: Aerosols

海上輸送 IMDG／GGVSee

Class: 2

UN number: 1950

Proper shipping name: Aerosols

EmS(Emergency Schedule): 2-13

MARPOL: -

Label: 2.1

留意点：パッキング（ボックスやカートン）は少なくとも Regulations of Packing Group II に従って行う。

空輸 ICAO／IATA

Class: 2

UN number: 1950

Proper shipping name: Aerosols, Flammable

Label: 2

留意点：パッキング（ボックスやカートン）は Regulations of Packing Group II(IATA-Regulation 5.2 203)に従って行う。

15. 適用法令

EC Directivesに基づき表記すること。

本製品は EC Directive 1999/45/ECに基づいて分類され、表記されている。

Hazard symbols: F+ Extremely flammable(引火性が極めて高い)

R Phrases: 12 Extremely flammable (引火性が極めて高い)

66 Repeated exposure may cause skin dryness or cracking

(繰り返しの使用は肌の乾燥またはダメージをあたえる可能性がある)

S phrase: 16: Keep away from sources of ignition – No smoking

(着火元から遠ざける－禁煙)

23.6: Do not breathe vapor /spray (蒸気や噴霧を吸わないこと)

24/25: Avoid contact with skin and eyes (肌や目との接触をさける)

51: Use only in well-ventilated areas (よく換気された場所のみで使用)

特別表記として

子供の手の届かないところに保管する

高圧ガスを使用した容器につき、直射日光をさけ 50 °Cを超える気温にさらさないこと。

使用後も穴をあけたり火の中にいれたりしないこと。裸電球や高温によって生じる物質にスプレーしないこと

16. その他の情報

R phrase に相当する尺度

10: Flammable 引火性あり

11: Highly flammable 引火性が高い

12: Extremely flammable 引火性が極めて高い

36: Irritating eyes 目の炎症を引き起こす

53: May cause long-term adverse effects in the aquatic environment

水中での長時間の使用は逆効果となる可能性がある。

65: Harmful: may cause lung damage if swallowed

有害：飲み込んだ場合は肺にダメージを与える可能性がある

66: Repeated exposure may cause skin dryness or cracking

繰り返しの使用は肌の乾燥やダメージを与える可能性がある

67: Vapours may cause drowsiness and dizziness

蒸気は眠気やめまいを引き起こす可能性がある